

平成 24 年度 秋季シンポジウム特別展公開講座（本学学生・教職員対象）

「生活空間の中での『絵』（被写体）になる風景とは？」

本年度から新たに開催することとなりました、嘱託研究員特別公開講座では、当研究所の嘱託研究員である有限会社ビゴ代表のフィリップ・ビゴ先生をお招きし、「お菓子とパンとー祖国フランスの味を伝えて 45 年ー」と題し、ご講演いただきました。当日は、製菓の専門学校の学生さんなどにも御参加いただき、とてもユニークなお話を拝聴することができました。建築家で写真家でもあるジョン・バー（John Barr）先生をお招きして、「生活空間の中での『絵』（被写体）になる風景とは？」というテーマで、秋季シンポジウム特別展公開講座を開催いたしました。実際に写真を撮影していただくワークショップです。

【講師プロフィール】

スコットランドのグラスゴー近郊の炭鉱村に生まれる。

グラスゴーで建築を学び、1976 年 Strathclyde University 卒業。

その後 12 年、英国、中東、オランダで様々なプロジェクトに関わり、1988 年来日。

当初、日本のディベロッパーと共に仕事をし、神戸にジョン・バー建築事務所を開設。

1992 年に英国人として初めて日本の一級建築士の資格を取って以来、多数のプロジェクトに携わる。

関西国際空港のラウンジをはじめ、公共施設から商業施設まで様々な分野のデザインや設計を手掛ける。

また、スターバックス・ジャパンの 150 以上の店舗の内装を一手に引き受け、全て異なる企画・コーディネートを行っている。

講師

ジョン・バー 氏（建築家・写真家）

テーマ

生活空間の中での「絵」（被写体）になる風景とは？

（講演は日本語を交えて行われます）

講演日

2012 年 11 月 19 日（月） 9:00 ～ 12:00

持ち物

デジタルカメラもしくはカメラ機能のある携帯電話

場所

武庫川女子大学 H3-204（プレゼンテーションルーム）